

実践事例

事例② 継続的な遠隔合同授業の実施（外国語科）

伊達市立関内小学校（胆振）



■ 本事例の概要

- ・遠隔合同授業のメリット（教員・児童）
- ・遠隔合同授業が継続しているポイント



※伊達市立関内小学校は、令和3年度から継続して遠隔合同授業に取り組んでいる。

事例② 継続的な遠隔合同授業の実施(外国語科)

伊達市立関内小学校(胆振)

動画



上記の二次元バーコードより視聴できます。

事例② 継続的な遠隔合同授業の実施(外国語科)

伊達市立関内小学校(胆振)

メリット



【児童が挙げたメリット】

発言が増える
対話の力が付く
他校の良いところが分かる
いつもはない考えを聞くことができる
自然と声が大きくなる

継続のポイント



【教員が捉えた児童のメリット】

社会性・コミュニケーション能力の向上
相手意識・仲間意識の醸成
相手に伝えようとする力の向上



事例② 継続的な遠隔合同授業の実施(外国語科)

伊達市立関内小学校(胆振)

メリット

継続のポイント

1. 専門性の高い授業を見童が受けられること

- ・今回のように、外国語を専門とする教員が単元の導入を合同で行うことで、単元のポイントが共有でき、**自校の授業づくりに生かす**ことができる。

2. 授業づくりについて考えられること

- ・教員同士で授業について考えることで、**自分の指導を振り返ったり、他校の教員の指導を学んだり**することができる。

事例② 継続的な遠隔合同授業の実施(外国語科)

伊達市立関内小学校(胆振)

動画



上記の二次元バーコードより視聴できます。

事例② 継続的な遠隔合同授業の実施(外国語科)

伊達市立関内小学校(胆振)

メリット

継続のポイント

1. 遠隔合同授業の意義を共有すること

- 児童・教員それぞれのメリットを共有

2. 打合せを最小限にしていること

- Google Classroomを活用した負担軽減
 - ・外国語科では、単元の指導計画を実施の1~2週間前にGoogle Classroomに掲載し、コメント機能を用いた打合せを実施している。



電話で打合せをすることはほとんどありません。
それぞれの教員の空いた時間に確認できるので負担が少ないです。